

## 第 25 回 栗東市景観百年審議会の議事概要

1 開催日時 令和3年7月6日（火） 14時00分から16時00分まで

2 開催場所 栗東市危機管理センター3階 大研修室1・2

3 出席者数 10名中9名

### 4 議事等

1. 議 事 議案第1号 会長の選出について
2. 協議事項 ①第24回景観百年審議会でのご意見について  
②屋外広告物賞について  
③その他事項について（景観重要樹木、コロナ禍での景観啓発等）

### 5 議事等概要

#### 1. 議 事

議案第1号 会長の選出について

- ・栗東市景観条例第35条第1項の規定により、学識経験を有するものの内から互選。委員より谷口委員を指名推薦、委員全員が承認し可決された。
- ・栗東市景観条例第35条第3項の規定による会長代理について、谷口会長より竹山委員を指名された。

⇒ 会 長 谷口浩志 委員  
会長代理 竹山清明 委員

#### 2. 協議事項

- ①第24回景観百年審議会でのご意見への対応について説明。
- ②屋外広告物賞について事務局案を説明。
- ③その他事項について（景観重要樹木、コロナ禍での景観啓発等）説明。

#### ○意見概要

■②について（①については特に意見なし。）

- （委員）他市の事例を見ていると最初は応募があっても年々減少している。自薦だけでは応募がたくさん集まらないのではないかな。
- （委員）市民の皆さんに良い広告物を判断してもらうことで、屋外広告物賞をまちづくりのツールとしても使えるのではないかな。また、小学生に街並景観について考えてもらい、いい看板を推薦してもらうなど教育的な観点で使ってもいいのではないかな。
- （委員）市民の方にどういう景観が良いのかを考えてもらう意識啓発の役割もあると思う。例えば、高校の美術関係の生徒を巻き込んだり、大学のサークルなどで美術関係に関心を持っている学生を巻き込めたら良いのではないかな。
- （委員）賞のコンセプトを明確にしたうえで、学生などを巻き込んでみんなで共有できるようにした方が良い。
- （委員）他薦は確かに有益だと思うが、一般人が応募者になるのではなく、広告主自身で応募をするべきという原案も理解できる。

- (委員) 賞を長く続けて浸透させるということが非常に重要である。やるとすれば市民の方々や応募された方々の気持ちを裏切らないように継続してやらないといけない。
- (委員) 最低限押さえておくべきところだけ決めておいて、あとは実際に運用していく中でブラッシュアップしていったらどうか。
- (委員) 応募を促すために参加賞を検討することも必要である。ピンワッペンやステッカーなどを検討してはどうか。
- (委員) なぜ、賞に選ばれなかったのかということの方が大事である。選ばれなかった理由を拾い上げることも必要である。
- (事務局) まず、第一回目としてモデル的に実施し、この屋外広告物賞について周知したうえで、市民の参加や連携に繋げて持続可能なイベントとしていくことを想定している。頂いたご意見も出来るだけ反映できるように検討したい。
- (会長) 応募や審査の方法については相談をしながら、最終的な方向性を決めていきたい。

### ■③について

- (委員) 景観重要樹木の指定後の管理については、継続的な管理が見込めるのか。
- (事務局) 管理計画を所有者等と協議して作成しており、管理計画を基に補助金を活用しながら、維持管理を継続していただけるように支援していきたいと考えている。
- (委員) NPOの活動として東海道沿いに屋号の看板や石碑を建てたりしているが、このように何か目に見えてくるものがあると、市民の景観に対する意識も高くなる。ささいなことでも市の支援をもらえると、市民全体にもっと景観に対して意識を持ってもらえるのではないかと。
- (委員) 街並み景観というのは、これから長い時間をかけて市民的な合意を作るようなことが必要であると考えている。その中で、例えば古い大切な樹木を地域で残していくことや、景観地区などの制度を活用したり、無電柱化などによって良い街並みを作ることが時間をかけて検討・実施していくことが重要である。
- (委員) 景観重要樹木については、所有者の負担軽減、意識啓発、景観の保全につながり、良い取り組みであると思う。次の景観重要樹木の指定については市から依頼して指定していくのか。
- (事務局) 市から依頼する場合と、所有者や管理者からの提案で指定していく場合がある。市から依頼する場合でも継続的に維持管理ができるところが候補になってくる。
- (委員) 今も昔も東海道は著名な道であるので、目川か六地藏の一里塚を復元してはどうか。当時植えてあったムクノキを植樹するなど、市主導で働きかけてもらえればと思う。
- (会長) 1本目の景観重要樹木が指定されたことで、これからそれが伝わって広がりを見せてくれると非常にありがたいと思う。普段あまり関心のない方々に景観に対する関心や考え方が広まるのが重なっていくことで、栗東市の景観そのものが段々とよくなっていくのではないかと期待している。

(以上)